



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所 東  
 コード番号 7062 URL https://fureasu.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)澤登 拓  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)佐藤 真悟 (TEL)03-6632-9210  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	733	—	△175	—	△171	—	△132	—
2020年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △132百万円 ( —%) 2020年3月期第1四半期 —百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△57.01	—
2020年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,033	1,365	45.0
2020年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,365百万円 2020年3月期 —百万円

(注) 当社は、2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,724	—	△155	—	△107	—	△91	—	△39.35
通期	3,881	—	△41	—	66	—	17	—	7.40

(注) 1. 当社は、2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、すみやかに業績への影響をお知らせいたします。

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) —、除外 一社(社名) —

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	2,328,600株	2020年3月期	2,328,600株
② 期末自己株式数	一株	2020年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2,328,600株	2020年3月期1Q	2,309,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2020年6月1日付で株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し新たに連結子会社としたことに伴い、当第1四半期連結累計期間より初めて四半期連結財務諸表を作成しております。このため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いていたものの、米国の保護主義的姿勢の高まり等に加えて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の停滞から、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び訪問看護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、特別養護老人ホーム等の介護施設の待機者数は、年々増加傾向にあり、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まっております。

このような状況のもと、当社グループが訪問してサービス提供する対象の一部には介護施設が含まれておりますが、多くの介護施設では新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止するなどといった措置がとられております。このため、緊急事態宣言の解除に伴って徐々に再開する介護施設も増えつつあるものの、利用者数及びサービス提供回数が前年比で大きく減少いたしました。

また、株式会社星野リゾートとの業務提携につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、株式会社星野リゾートグループが運営する宿泊施設への宿泊客の減少に伴って当社サービスの利用者が減少したことに加えて、新型コロナウイルスへの感染防止を図るために、2020年4月16日以降は当社サービスを中止せざるを得ず、今後の売上回復には相応の期間がかかることが見込まれたため、これまで本サービスに投下してきた経営資源の適正な再分配を図るべく、2020年6月30日付で業務提携契約を合意解約いたしました。

一方で、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する2025年頃には、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるといういわゆる「2025年問題」の到来が見込まれる環境下において、介護施設等の法人営業を強化することによるサービス利用者のさらなる増大を通じて、「2025年問題」の解決企業として当社グループが事業を遂行していくことを実現すべく、株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化することで、マーケットシェア及びサービス提供エリアがより一層拡充いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は733,330千円、営業損失は175,081千円、経常損失は171,094千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は132,763千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、株式会社オルテンシアハーモニーを新たに連結子会社としたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「マッサージ事業」から、「マッサージ直営事業」「マッサージフランチャイズ事業」に変更しております。

#### ① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、多くの介護施設で外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止された影響による減収が続いておりましたが、緊急事態宣言の解除に伴い、介護施設に向けてサービスの再開を訴求してまいりました。また、サービス休止中に筋麻痺や関節拘縮といった症状が進んでしまった利用者に対して、日常生活動作能力（ADL能力）の向上を目的として、従前よりも高頻度なサービス提供を提案することで、サービス提供回数の増加に取り組んでまいりました。また、介護施設への営業を強化するなど、引き続き当社グループのサービスの認知度向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は619,588千円、セグメント損失は30,919千円となりました。

#### ② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規加盟店のための研修会を一時的に休止しておりましたが、テレビ会議システムを利用したリモート研修会を開催したことで、「フレアス在宅マッサージ」フランチャイズの新規加盟数が7件となりました。また、株式会社オルテンシアハーモニーの子会社化に伴い、これまでの「フレアス在宅マッサージ」ブランドに加えて、「レイス治療院」ブランドによるフランチャ

ヤイズ展開を新たに開始したことで、フランチャイズ加盟店数が165拠点増加いたしました。

以上の結果、売上高は43,081千円、セグメント利益は7,013千円となりました。

③その他の事業

その他の事業セグメントに含まれる主な事業である訪問看護事業は、新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響はなく、地域のケアマネジャーに対する営業の強化を通じて、当社グループのサービスの認知活動を推進してまいりました。

以上の結果、売上高は70,659千円、セグメント利益は3,126千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、2,243,803千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,423,930千円及び売掛金が763,263千円であります。

また、固定資産は、789,393千円となりました。主な内訳は、のれんが310,173千円、契約関連無形資産が298,076千円及び投資その他の資産が128,957千円であります。

この結果、総資産は3,033,197千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は723,790千円となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が289,562千円、未払金が245,360千円及び流動負債のその他が153,418千円であります。

また、固定負債は944,355千円となりました。主な内訳は、長期借入金が665,077千円及び社債が120,000千円であります。

この結果、負債合計は1,668,145千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,365,051千円となりました。主な内訳は、資本金が289,638千円、資本剰余金が279,638千円及び利益剰余金が795,774千円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想は、これまで新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、合理的に算定することが困難であったため、2020年3月期 決算短信の公表時には未定としておりましたが、当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成していることに鑑み、2021年3月期の個別の業績予想は公表しないことといたしました。また、同様の理由により、現時点において入手可能な情報及び最近の状況を踏まえ、新たに2021年3月期の連結業績予想を公表することといたしました。

当第1四半期には、当社グループが訪問してサービス提供する対象のうち、多くの介護施設において、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止するなどの措置が取られておりましたが、緊急事態宣言の解除に伴って再開する介護施設が徐々に増加基調にあるなど、足元の業績は段階的に回復しつつあります。しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、業績への影響は、徐々に縮小しながらも、少なくとも2021年3月期中は継続していくものと想定しております。

#### (売上高について)

マッサージ直営事業においては、介護施設に対して、マスク着用、手洗い、うがい、手指消毒や朝夕の検温などの感染防止対策を講じることで安全性を訴求すると共に、休止していた介護施設の再開も徐々に増えてきていることから、2021年3月期の後半にかけて業績は段階的に回復することが見込まれるものの、当第1四半期における介護施設入居利用者のサービス休止の影響が大きく、サービス提供回数(鍼灸サービスに係る回数を除く)は640,429回(前期比86.6%)を見込んでおり、これにより3,151,010千円の売上高を見込んでおります。

マッサージフランチャイズ事業においては、「2025年問題」の到来を見越して、フランチャイズ加盟を希望される新規の加盟店オーナーが足元において堅調に増加していること、また、株式会社オルテンシアハーモニーの連結子会社化に伴う「レイス治療院」ブランドによるフランチャイズ展開を2020年6月1日付で新たに開始したことを踏まえ、245,495千円の売上高を見込んでおります。

その他の事業に含まれる主な事業である訪問看護事業は、引き続き高いサービス利用が見込まれることから、324,987千円の売上高を見込んでおります。

以上より、2021年3月期の連結業績予想における通期の売上高は3,881,601千円となることを見込んでおります。

#### (営業損失について)

営業利益については、当社グループは正社員比率が高く固定費率が高いことから、減収に伴う利益影響が大きいこと、また、株式会社オルテンシアハーモニーを連結子会社化したことに伴うマッサージフランチャイズ事業の事業運営費用の増加が想定されることから、41,121千円の営業損失となることを見込んでおります。

#### (経常利益について)

経常利益については、雇用調整助成金等の各種助成金の計上が見込まれるため、66,197千円の経常利益となることを見込んでおります。

なお、今回公表した業績予想については、現時点で入手可能な情報にもとづき算定したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,423,930
売掛金	763,263
貯蔵品	6,409
その他	52,491
貸倒引当金	△2,291
流動資産合計	2,243,803
固定資産	
有形固定資産	19,321
無形固定資産	
のれん	310,173
契約関連無形資産	298,076
その他	32,863
無形固定資産合計	641,113
投資その他の資産	128,957
固定資産合計	789,393
資産合計	3,033,197
<b>負債の部</b>	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	289,562
未払金	245,360
賞与引当金	35,449
その他	153,418
流動負債合計	723,790
固定負債	
社債	120,000
長期借入金	665,077
退職給付引当金	22,675
その他	136,602
固定負債合計	944,355
負債合計	1,668,145

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(2020年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	289,638
資本剰余金	279,638
利益剰余金	795,774
株主資本合計	1,365,051
純資産合計	1,365,051
負債純資産合計	3,033,197



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	733,330
売上原価	518,700
売上総利益	214,629
販売費及び一般管理費	389,711
営業損失(△)	△175,081
営業外収益	
助成金収入	3,900
その他	1,616
営業外収益合計	5,516
営業外費用	
支払利息	1,188
その他	340
営業外費用合計	1,529
経常損失(△)	△171,094
特別損失	
減損損失	5,005
特別損失合計	5,005
税金等調整前四半期純損失(△)	△176,099
法人税、住民税及び事業税	4,852
法人税等調整額	△48,188
法人税等合計	△43,335
四半期純損失(△)	△132,763
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△132,763

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△132,763
四半期包括利益	△132,763
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△132,763

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りに用いた仮定は、直近の新型コロナウイルス感染症拡大の状況や経済、市場動向を踏まえ、前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャイズ	計			
売上高						
外部顧客への売上高	619,588	43,081	662,670	70,659	—	733,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	619,588	43,081	662,670	70,659	—	733,330
セグメント利益又は損失 (△)	△30,919	7,013	△23,905	3,126	△154,301	△175,081

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「マッサージ直営」セグメントにおいて、一部の事業所について当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,005千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、株式会社オルテンシアハーモニーを新たに連結子会社としたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「マッサージ事業」から、「マッサージ直営事業」「マッサージフランチャイズ事業」に変更しております。

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社オルテンシアハーモニー

事業の内容 マッサージフランチャイズ事業

## ② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する2025年頃には、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるといういわゆる「2025年問題」の到来が見込まれる環境下において、介護施設等の法人営業を強化することによるサービス利用者のさらなる増大を通じて、当社グループが「2025年問題」の解決企業として事業を遂行していくことを目標としております。介護施設等の法人営業を強化するためには、サービス提供エリアのより一層の拡充が必要不可欠であるため、全国規模で訪問マッサージのフランチャイズ運営を行っている株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化いたしました。

## ③ 企業結合日

2020年6月1日

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

## ⑥ 取得した議決権比率

100.0%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式を取得したためであります。

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年6月1日から2020年6月30日まで

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金	500,000千円
--------------	-----------

取得原価	500,000千円
------	-----------

なお、現在取得原価の精査過程にあるため、当第1四半期連結会計期間末においては、取得原価は確定しておらず、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ① 発生したのれん金額

303,770千円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

## ② 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力であります。

## ③ 償却方法及び償却期間

13年間にわたる均等償却